



いちかわ しげと  
代表取締役社長 市川 滋乙(重人)

年頭所感

明けましておめでとうございませう。先ずもって年始早々に発生した震災、事故、災害にあたり、被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

昨年末は、約3年ぶりに制限のない中で、帰省や催事等が再開され、人々が出かける機会も急増し、気候も秋を飛ばしたかのようになり、急激に寒くなり、かなりの寒暖差や世間の変化の激しい年越しでしたが、まずは年明け時点にて、会社に勤める皆さまやご家族誰しもが無事に健やかにいられたことに安堵しておるとともに、本年もそのような状況が続くことを切に願うばかりです。

前段のように年始早々に色々ありました。この地区の気候は晴天続きで、正月と思えない気温

となり、我々運送業にとっては、積雪をさほど心配することなく、今のところを過ごせております。そんな年末年始の一段落感から来る気の緩みや寒暖差による体調不良には気を付けていただき、晴れとした年始めにしていきたいと思います。

さて一昨年は、春には行動規制が緩和され、いよいよコロナ明けの世の中となりました。しかし世界的に良くない事柄、即ち戦火は収まるどころか新たに発生し、そこに国内は、超円安も重なり原材料や燃料の高騰が続く、物価高の世況となっております。弊社の状況としましては、年末の終業式や賞与のコメントでお伝えしたようにコロナ禍が明け、社会経済活動の正常化が進み、自動車関連を中心に全取扱業種でのしごとがほぼ挽回し始め、世況のマイナス

え」や「向上心」をもとうの意識を紐づける良い機会の年ともなります。その意識が個々で高まれば、個人も成長し、そして皆が成長すれば、会社全体が成長するとの想いでこの方針を掲げています。さらにそれを目標として目指す『変化すること』が、今年、これからの南星の成長と発展『上昇』につながると信じております。本年も皆様方の変わらぬご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



私、昨年は、社長就任10年目と兎(うさぎ)年の年男で迎え、おかげさまでコロナ明けでの素晴らしい『向上』で年を終えることができました。翌年の今年の干支は「甲辰(きのえ・たつ)」で『最初の芽が成長し、堂々と姿を変えていく様』との意味で、「コロナが明けて、停滞していた物事がいよいよ成長し、さらに変化していく年」と解釈されるとのこと。

そして『辰・竜・タツ』は、干支で唯一の架空の生き物とし『特徴』『変化』の象徴、「昇竜」と云われるよう『更なる上昇』を意味し、まさに個人も会社も如いては世の中が、「成長から向上し、良い変化をし、さらに上昇する」年になることを予測させ期待させてくれます。

昨年度新たに改定した『南星基本方針』にある、「前向きな考

要因を補うほど回復してきております。

そして何よりそんなコロナ禍を通じても現在においても、社会生活や経済を回すというしごとにより、物流のプロとして働いてくれている皆さまに改めて感謝申し上げます。ですが、コロナが落ち着き、年が変わっても油断大敵、まだきびしい寒い季節は続きます。健康管理と予防対策においては、気を緩めることなく、『自分のため・周囲のため』を念頭に確りと意識継続してまいります。

自動車関連の拡販を取り込めれば、更なる飛躍につながることを期待できます。その機会にむけて、会社としては、継続して若手社員・未経験者の採用の強化と同時に働きやすい職場環境の整備と改善を進めていきます。

またそのツールに繋がるIT化やデジタル化を更に推し進め、しごとの効率化を目指していきたいと思っております。そこに更に良い変化、新たな人やモノ(車・営業所・職場環境等)・組織(部門・連携・チーム)・しくみ(方法やノウハウ)≡ITデジタル化)が重なれば相乗効果となり、そしてコロナ禍での対応の経験が活かされれば、今後もコロナ明け即ちポストコロナ時代の急激な変化や危機、そして新たな変化にも対応し、更により良く成れると確信しております。

これからは本年と未来の話に移りたいと思います。コロナショックを補った『豊明営業所』は、新たな保管や輸送の獲得ができ、更なる拡充が期待され、そこに同じくコロナ禍を補っていた食品や段ボール等の生活必需品関連も順調に推移し、急激に挽回している自